

大会要綱

主 催	一般財団法人 日本リトルシニア中学硬式野球協会 関西連盟中国支部
協 賛	株式会社ハーカスレイ（ほっかほっか亭中国各店舗）、ゼット株式会社、ミズノ株式会社、株式会社エスエスケイ、アシックスジャパン株式会社、株式会社ドーム、株式会社体育社、サントリーフーズ株式会社、松本映像研究所（マツプロ）
後 援	公益財団法人日本野球連盟中国地区連盟（JABA 広島県野球連盟） J R 西日本硬式野球部、三菱重工広島硬式野球部、M S H 医療専門学校硬式野球部、広島鯉城クラブ、伯和ビクトリーズ、ツネイシブルーバイレーツ、J F E 西日本硬式野球部、福山ローズファイターズ、三原ヤッサベースボールクラブ
期 日	令和2年8月10日（月祝）～29日（土）
場 所	岩国きずなスタジアム、津田恒実メモリアルスタジアム、山口マツダ西京きずなスタジアム、コカ・コーラウエストスタジアム、三次きんさいスタジアム、東広島アクアスタジアム、しまなみ球場
競 技 方 法	関西連盟大会規定を採用する。（一部、大会特別規定を採用）
試 合 形 式	本戦トーナメント、※三位決定戦あり（敗者復活戦）
大 会 副 賞	【大会出場権】イースタン優勝、ウエスタン優勝、※各地区準優勝と第三位で抽選 B S Y 勝ちグセ卒団大会の出場権獲得（※今年度は3チーム）
開 会 式	期：令和2年8月10日（月祝）：9：30（開門7：30～ 受付開始：8：00～） 於：三次きんさいスタジアム
閉 会 式	本戦決勝戦：8／29（土）岩国きずなスタジアム（14：00：予定） 三位決定戦：8／29（土）津田恒実メモリアルスタジアム（16：00：予定）
参 加 チーム	日本リトルシニア関西連盟 中国支部加盟チーム：18チーム

抽 選 会	令和2年7月25日（土） 於：広島市南区民文化センター 大会議室A
参 加 費	大会規定額を納入（期日までに中国支部の口座に振込）
試 合 球	ミズノ（シニアリーグ公認球）試合ごとに4球 最初の一箱のみ中国支部にて一括購入
審 判 員	● 全試合：本部審判員2名、父兄審判員2名（各チームから1名派遣） ※父兄審判員については、審判部が発行する審判カード所持者に限る。
審 判 弁 当	派遣人数分支給（各チーム：1日1個まで）
参 加 要 件	1. 本大会は、日本リトルシニア野球協会が発行する選手登録証所持者（コピー不可）のみ、ベンチ入りを許可する。（但し、スコアラー1名は除く） 2. ベンチ入りできる選手は25名までとし、背番号は1～25番までとする。 3. 専用球場を保有するチームは、当該試合の有無に関わらず、本大会の試合会場として協力できること。 4. 本大会に参加する選手（指導者含む）ならびにチーム関係者は、全ての試合においてスポンサー弁当（@600円）を注文すること。（但し、一部球場を除く）

競技要項（大会特別規定）

- 1 ベンチは若番が一塁側。ロージンは後攻チーム、ボールボーイは両チーム2名とする。（ボールボーイは原則ベンチ入り選手とする）
- 2 各球場のグランドルールは、試合開始前に各会場の責任審判員により説明を行う。
- 3 本大会は本戦トーナメント戦を採用し、三位決定戦も行う。（敗者復活戦）※本戦トーナメント戦の競技詳解については別添参照
- 4 試合は7回または2時間制とし、5回をもって試合成立とする。（5回までは2時間超えても試合を行う）なお、試合成立後の延長戦は行わず、即タイブレイク（最大3回：1アウト満塁）を行い、なお同点の場合は最終出場メンバー（18名）による抽選にて勝敗を決定する。（決勝戦は除く）
- 5 5回以降7点差および4回以降10点差をもってコールドゲームとする。（決勝戦も含む）
- 6 メンバー交換は前試合4回終了後、大会本部が指定する場所にて、**監督・代表選手1名が集合し、所定のメンバー表（5部）を提出し、担当審判員並びに本部役員立ち会いのもと、先攻後攻を決定する。**
- 7 試合前のシートノックは7分間とし、ノック時のボールボーイは必ずヘルメットを着用する。なお、天候によってはサイドノックに変更する場合もある。（原則、各補助員は登録選手に限る）
- 8 試合前のアップはフィールド内を使用しないこと。但し、**外野フィールドにおいてはアップシューズ着用に限り、アップやキャッチボールを認める。（ノックやトスバッティングは禁止）**
- 9 次試合チームの先発バッテリー1組に限り、メンバー表交換後、ブルペンに入って投球練習を行うことが出来る。（但し、ブルペン入場は、試合進行を妨げないよう細心の注意を払うこと）
- 10 ブルペン捕手は、**スタンディングの場合であっても必ず防具を着用（特にキャッチ面）し、捕手の安全を守る保護選手を1名帯同させること。（保護選手も必ずヘルメットを着用すること）**
- 11 監督指示により、捕手がタイムを取る行為はタイムカウントとして数えないが、遅延行為と判断した場合は、1回のみ警告を行い、2回目からはタイムとしてカウントする。

その他の注意事項

- 1 各チームは、会場到着後、速やかに大会運営本部が指定する受付手続きを行うこと。
- 2 各チームは、当日の試合が全て終了し、会場を退出する際は、大会運営本部が指定する退場手続きを行い、「次回指示書」を受け取ること。
- 3 審判員は第1試合の試合開始40分前までに待機し、第2試合以降は、前試合3回終了前までに**必ず審判控室にて待機する。（審判服は支部指定）**
- 4 各チームの放送係は、第1試合の試合開始40分前までに必ず名札を付けて待機しておくこと。
- 5 審判へのお茶出しのアナウンスは行わない。（4回終了後のメンバー表交換のアナウンスは行う）
- 6 試合成績表の記録者は、名札を付け**予備球を持って記録室に入室のこと。**
- 7 各チーム応援団は、鳴り物やメガホン2本を叩いたり、球場器物を叩いての応援を禁止する。
- 8 本大会は関西連盟が指定するソーシャルディスタンスに定められた規程を遵守すること。

トーナメント戦における競技要項の詳細

卒団記念大会の競技要項詳細については、下表のとおり行う。

	準決勝まで（三位決定戦）	決勝戦
試合成立	5回完了	
正式試合	7回	
投球回数制限	あり（上限到達選手は、捕手への交代も制限）	
時間制	あり（2時間制）	
コールド	あり（4回：10点差、5回以降：7点差）	
延長戦	なし	
タイブレイク	あり（1アウト満塁：最大3イニング）	あり（決着がつくまで）
抽選決着	あり（タイブレイク後、同点の場合）	なし
審判	球審・二塁：大会審判部、一塁・三塁：各チーム	
禁止事項	一日4試合、一日ダブルヘッダー、ナイターゲーム	※全て原則

上表の詳解については下記のとおり。

【一回戦～準決勝（三位決定戦）までの適用について】

試合成立ならびに正式試合

試合は7イニングまで行い、時間制を採用する。試合開始から2時間を超えて新しいイニングには入らない。

※ 但し、以下の場合は例外とする。

- 1 試合成立（5回完了）までは、2時間を超えて試合を行います。
- 2 後攻チームがリードしたまま攻撃中に2時間が経過した場合は、その時点で試合を打ち切ります。

コールドゲーム

4回10点差 または 5回以降7点差。（大会中に棄権した場合は、7-0の5回コールド負けとする）

タイブレイク

試合開始から2時間または7回を終了し、同点の場合は次の回から最大3回のタイブレイク戦に入ります。

！重要！タイブレイク戦に入った時点でタイムカウントは止まります（時間制の適用外）

- ・ **タイブレイク戦は正式試合終了後、同点の場合は必ず適用します。（2時間超えていても必ず実施）**
例：5回終了後、2時間を経過し同点の場合は、6回から最大3回タイブレイク戦を行う。
6回終了後、2時間を経過し同点の場合は、7回から最大3回タイブレイク戦を行う。
7回終了後、同点の場合は、8回から最大3回タイブレイク戦を行う。
- ・ **タイブレイク戦を行っている途中に2時間を経過しても、途中で打ち切りません。**
- ・ **最大3回のタイブレイク戦を戦い、それでも同点の場合は、両チームの最終メンバー9名にて勝敗抽選を行います。**

【決勝戦の適用について】

試合成立ならびに正式試合

一回戦～準決勝まで及び三位決定戦と同ルールで行う。(5回成立、2時間制)

コールドゲーム

一回戦～準決勝まで及び三位決定戦と同ルールで行う。(コールドゲームあり)

タイブレイク

決勝戦については、**勝敗の決着がつくまでタイブレイク戦を行います。**

抽選決着

勝敗が決まるまでタイブレイク戦を行うため、**選手による勝敗抽選は行いません。**

サスペンデットゲーム（特別継続試合）について

降雨及び日没などにより、試合の途中で中止された場合、特別継続試合を適用します。

適用するケース

- 試合が成立する前（5回完了する前）に中止になった場合。
- 試合成立後、7回を完了するまでに、残り時間がある場合。

特別継続試合のルール

- 中止となった元の状態から継続するため、元の試合で交代した選手は出場できない。
- 監督・コーチの交代は認めるが、試合前に大会本部へ変更メンバー表を提出すること。
- 投手の投球回数制限はそのまま生きる（リセットされない）
- 残り時間は元の試合の経過時間から引き継ぎ、合算で2時間とする。
- 特別継続試合の日時、球場、審判員は大会役員にて決定する。

注1) 特別継続試合は、原則として、**翌日の第一試合**に割り当てられます。

注2) **試合成立後（5回終了後）**に中止となった場合は、リードしているチームが勝利となり、特別継続試合は適用されません。

注3) 試合成立後（5回終了後）同点で試合が中止の場合は特別継続試合を適用します。

※タイブレイク中に、中止となった場合は、特別継続試合は適用されず、両チームの最終メンバー9名にて勝敗抽選を行う。（タイブレイクの再試合は行わない）

注4) 試合中止の判断は、審判員、大会役員、球場責任者の協議判断によるものであり、当該チームが意見を申し出ることはできない。（日没の場合も含む）